

HSK N P O 法人「文福」ニュース



# 「障」ちゃん



NO.248

## 冒頭の一言

(6)

2020 年明けましておめでとうございます。西暦 2000 年は 20 世紀か 21 世紀か、クイズになっていた頃から早 20 年も経ってしまいました。オリンピックだ、パラリンピックだ、東京だ、札幌だと騒がしい世の中になっています。地球温暖化も地球レベルで問題になっていますが、車いすや歩きづらい障害者や高齢者にとっては雪の少ないことは外出しやすかったり、気持ちが明るくなったり良い事ばかりのように感じますが、考えてみれば富山は雪が降るのが当たり前。雪は降ったら積もるもの。熱い冬を望むのはやめましょう。

富山は雪が降り積もってなんぼのもの。雪が積もっても障害者が街や外に出かけやすくなるために寒さに負けず、皆さん外に出かけていきましょう。今年は暖冬らしいですよ。

### —もくじ—

冒頭の一言 … 1

こちらの反省とお詫び … 2

もちつき大会のお知らせ … 3

Penko … 4

植松被告様へ … 5-7

ザ☆カイジヨ報告 … 8-9

運営会議報告 … 10

年末・年頭の挨拶 … 11

今後の予定 … 12-13

ありがとうコーナー … 14

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
工  
不  
大  
新  
報  
回  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
一〇  
一一  
一二  
一三  
一四  
一五  
一六  
一七  
一八  
一九  
二〇  
二一  
二二  
二三  
二四  
二五  
二六  
二七  
二八  
二九  
三〇  
三一  
三二  
三三  
三四  
三五  
三六  
三七  
三八  
三九  
四〇  
四一  
四二  
四三  
四四  
四五  
四六  
四七  
四八  
四九  
五〇  
五一  
五二  
五三  
五四  
五五  
五六  
五七  
五八  
五九  
六〇  
六一  
六二  
六三  
六四  
六五  
六六  
六七  
六八  
六九  
七〇  
七一  
七二  
七三  
七四  
七五  
七六  
七七  
七八  
七九  
八〇  
八二  
八三  
八四  
八五  
八六  
八七  
八八  
八九  
九〇  
九一  
九二  
九三  
九四  
九五  
九六  
九七  
九八  
九九  
一〇〇

## 「こちらの反省とお詫び」

富山障連協様へ

NPO 法人「文福」理事長 八木勝自

NPO 法人「文福」の理事長を務めさせてもらっている八木です。この度は私の書いた「障ちゃんニュースの記事に対して貴障連協様からの丁寧な「お詫びとお礼」をありがとうございます。

そして実は私どもも貴障連協様にお詫びをしなくてはいけないことがあります。それは何かと言うと、文福の障害者の集まった会合で文福の理事長である八木が「障害者同士だから交流したり付き合ったりしなくてはいけない。しかし、この文書は政治団体の〇〇党系の人々が東京の交通公共機関が障害者や生活保護者のは都民なら無料になったりする制度があるので、それを理想として恣意的に間違えたのかもしれない」という発言をしたことです。

そのことに対して貴障連協様が障害者制度上の間違いをするはずがないと言う前提や思い込みがあったとは言え、偏見と誤解に満ちた表現であり、ここで深くお詫びをするものです。誠に勝手な解釈をして本当にすみませんでした。もちろん、次回の障害者の集まりでは訂正すると書いておきます。

これからはお互いに交流や意見交換をして、様々な活動をして、障害者の社会参加と生活を守り、向上させて行きましょう。

これからもよろしくお願いします。

なお、東京都の制度で注意としては下記のようなことが上がられます。都内在住の身体障害者、知的障害者、生活保護世帯の方などに、「都営交通無料乗車券」を発行しています。

都営地下鉄全線、都バス（江東 01 を除く。）、都電、日暮里・舎人ライナーでご利用いただけます。

JR、私鉄、東京メトロ及び民営バスは、都内であってもご利用いただけません。

## もちつき大会のお知らせ

来る 2 月 11 日毎年恒例のもちつき大会をやろうと思います。今年度のもちつきは夢宙人からではなく、文福の行事としてやることにしました！！とは言いつつも、やることは一緒です（笑）皆で臼と杵を使ってぺったんぺったんとやりましょう。ただただお餅をついて食べる企画。それが「もちつき大会」です。皆で一緒に楽しくおいしい時間が過ごせたらと思います。お暇があれば是非に足を運んでみてください。

毎年の事ながら、駐車場には限りがあるため、なるべく公共交通機関で来ていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

+α で何かあるかもしれません。詳しい時間や場所は下記に。

※昨年同様、参加費をお願いします。

日時 2 月 11 日（火・祝） つきはじめ 12 時～

場所 NPO 法人文福事務所

参加費 200 円+α

問い合わせ

076-441-6106（NPO 法人文福）





Penkoのおひとりさま  
珍道中!! (part46)

11月の3連休に実家に帰り、初めて一人で実家周辺などを散歩することができました。「今さら」って思われるかもしれませんが、事情があるんです。

きっかけは実家から歩いて5分以内の田んぼの真ん中にカフェができたので、行ってみたいと思ったからです。

今まで実家から介護タクシーを利用する時以外は一人で外に出たことがありませんでした。最近では母親と外に出る機会が増えました。世の中が変わってきたから親たちの意識も少しは変化したのかな、道路が新しくなり広くなったからかなと思っているけれど…。

そのカフェは平屋建てでバリアフリーになっています。寒天の品物がたくさん売っています。フリースペースもあるそうです。カフェの外で犬が遊んでいました。そこで野菜ジュースを飲みました。

帰りにお墓参りに行き、電動車いすで実家のお墓が見えるところまで行ってお参りできました。

このことがあって、実家からもう少し遠出したくなりました。



下記の手紙第 4 弾は去る 11 月 24 日 K N B に放送された私の番組の K N B ふるさとスペシャル「19 人を殺した君と重い障がいがある私との対談」を踏まえて出したものです。  
植松被告がこの第 4 弾の手紙に反応してくれる期待を半分かけています。

植松被告様へ

植松被告様、富山からあなたに接見に行った八木です。私が植松被告様に接見に行って、月日の経つのは早いものでもう 3 カ月以上経って、ここ富山では数日例年より少し早い雪が降りました。そちらの居場所である横浜市の拘置所もさぞかし寒いでしょうね。

そして、まずは何回かの手紙で書いたかもしれませんが、私は植松様に謝らなくてはならないことがあります。それは何かと言うと私の半生を描いたテレビ番組が地元の北日本放送から約 1 時間流れて、その番組の中で植松様と私の接見したことが私と植松様の代役を使って、流れてしまったことです。

この流れた私の番組は植松様と私の接見をした時に一緒に同行した女性の武道さんが前から企画していたもので、私も武道さんとは以前からの知り合いで私は武道さんが夕方 5 時くらいから 7 時少し前まで平日は毎日ニュースキャスターをやっているのです。他のマスコミには植松様との接見に行くことは伏せていたのですが、うっかり接見に行くとは思わなかったのも、「行く」と聞くと「行く」と返って来たのでこちらがびっくりしてしまいました。私が謝りたいと思うのは植松被告様を決して私の「売名行為」に使いたくないと思っていたのに結果的にはそうはならなかったことです。しかし、それとは別に私なりに植松様の「真実」がわかった時はまとめたものを本という形で出したいと思っていますので、それは承諾して下さい。

さて、話しは本題に入ります。私は植松被告様のことで焦っています。何故焦っているかというと、植松被告様の裁判が 1 月 8 日と決まり、3 月に判決が出て、植松様が上告しなかったらそのまま死刑になってしまうのではな

いかと思うからです。

私は植松被告様にとっては最大の敵であり、最大の味方だと自分では思っています。

私は元々死刑反対論者です。例えば悪いのですが、国と国が戦争をして、1 兵が敵の敵兵を何人殺害しようと英雄にはなりますが、死刑にはなりません。死刑になるのは敗戦国の軍部の上層部の人たちや国を主導した人たちです。

多分、今回の障害者大量殺傷、殺害事件も植松被告様が自分で判断したり、考えたこととされていると思います。しかし、人は時代性や社会性や人間関係や環境によって、そう判断させられたり、考えさせられている場合が多いのです。だから、植松被告様を 1 兵の兵士として死刑という「死」の残酷な苦しみだけを与えて、本当の意味での障害者を多数殺害した反省もさせずに植松被告が死刑になって事件がこれで終わったと思う人々がいる現状は本当に殺害された多くの障害者は浮かばれないし、私としても本当にくやしいのです。植松被告様を巨大殺害モンスター作り上げたのは現代社会であり、それを支えている人々なのです。

植松被告様は「人や人間を殺したのでは無い」と言われるかもしれませんが、人間は「おぎゃ」と生まれてから人であり、何らかの役割や使命があって生まれて来るのであり、その使命や役割を言う前に無制限に生命として認めるべきだと思うのです。

私は大きな線引きや区別は必要ですが、現代人はあまりにも人を細かく線引きして人や自分を差別しているのではないかと私は思っているのです。

私は最初に植松被告様の事件を知った頃は「どうしてあんな憎たらしい奴がいるんだ」と思ったり言っていたところ、あの地元の市役所の福祉関係をやっている人に「あの人に正しいことは正しい。間違っていることは間違っていると言ってくれるおばあちゃんやおじいちゃんやそう言った人がいなかったらうね」と言う人がいて、私は植松被告様のことを考えるきっかけになったのです。

繰り返して言いますが、私はこのままで植松被告様が死刑になることでこの悲惨で痛たましい事件が解決したと思われることによって殺害された多くの「人」が何も浮かばれなくなってしまうことが大変辛くくやしいのです。

そこで私としても植松被告様にもう時期的に接見は無理なのかもしれま

せんが、もう一度接見をして植松被告様の死刑にならないことや社会や人々に問題提起をするために植松被告様の弁護活動をするための話しをしたいと思っています。決して植松被告様の死刑にならないことから逸脱する気はありません。植松被告様を死刑にさせないように裁判で勝ち取ることは今の法律では到底無理なのは承諾しています。しかし、植松被告様によって殺害された障害者は合同葬儀の時でも無位牌、無遺影でした。こんなばかなことがあってたまらない思いです。奇跡を勝ち取りましょう。接見の意識があることを植松様から連絡をして下さい。

2019年12月15日

植松聖様へ

八木勝自

## ザ☆カイジョ報告

先日、県指定 重度訪問介護従事者養成研修「ザ☆カイジョ」がありました。  
大型台風接近により、予定より一週繰り下げて基礎課程を 10 月 19 日(土)  
20 日(日) サンフォルテ、追加課程を 10 月 26 日(土) に文福事務所で  
行いました。

文福アルバイトや一般の方、他事業所から 10～70 代と幅広い世代の  
方々からの申し込みがあり、基礎課程は 8 名(男性 2 名 女性 6 名)、追加過  
程は 3 名(男性 1 名 女性 2 名)受講されました。

今回受講された方の中には放課後デイに勤めている方や新たに事業所を  
立ち上げられる方などがおられました。

特に追加課程では、受講された方が 3 名だったこともあり、講師との距離  
が近く、またコミュニケーションの講義では障害者スタッフの指示に従って  
コーヒーを作るという実習がありました。

今年度もザ☆カイジョを 2 回行えました。2 回とも 10 代の受講があり将  
来どんな道に進まれるか研修を通して考えるきっかけになったのではない  
かと思います。

来年度は、新しくできた専門学校にも声をかけていきたいと考えています。

今年度受講してくださった皆様、ありがとうございました。

来年度もザ☆カイジョを行う予定です。

最後に受講された方々からの感想を一部掲載します。



今回は基礎コースの受講のみでしたが、介助と介護の違いや、介助方法を実際に体験してみて、利用者さんとの関わりの中で信頼関係はとても重要だと感じました。スタッフの方と利用者さんの関わり方でもたくさん学ぶ事がたくさんありました。言葉で感じ取れない場合には目線、手の向きやわずかな変化にも気付く事で思いを感じ取る事ができるという事でした。私もそんな介助者になりたいと思いました。 (30代女性:他事業所)

ゆっくりと何を伝えたいのか必ず聞くということが大切だと勉強しました。

確かに分からないまま必要のないサービスをうけられるのも大変失礼にあたるので、そこをしっかりと理解しなければと思いました。

(30代男性:他事業所)

重度障害者の方々との活動は初めてで、どのの方々にも一般の人たちと同じような日常生活とまではいかないかもしれませんが、外出をし、ショッピングや外食、春夏秋冬を目で見て風で感じる事ができるように私達がサポートさせていただける事をこの研修に参加して多くの事を学びました。

障害をもつ人たちの「自立生活」にもっと多くの方に必要性をつたえて広めていきたいと思いました。

(40代女性:放課後デイ)



外出実習



コミュニケーション実習

## 運営会議報告 〈11月19日現在〉

### ◎各部の報告

◆連続学習会 11月20日(水)に打ち合わせをします。

◆障害者部会 障害者の『がい』の字について。

個人的に書く文章は、それぞれの自由でやればよいが、役所や他の事業所に出す文章については『碍』。障害者で統一する。ニュースとかの私的な原稿は自由な表現で。

○富山大学の理学部のエレベーターの張り紙については、車イスマークがついているにも関わらず、荷物を運ぶ時以外は使用禁止といった張り紙がしてあり、これおかしいのではないかという事を大学の方に申し入れた。

○10月部会の後、エコマイカカードについて富山地铁側と話し合った結果、カードの確認をした上で、パンフレット内の項目②「エコマイカカードの種類」の表記(次のカード及び定期券が搭載されたカードは、券面に記載されたご本人以外はご利用できません)を変更することとなった。

カードについては、介助者用は「介護者カード」と書いて障害者の名前を書く。障害者が携帯し、使用する。

◆介助・介護人派遣事業部 ザ☆カイジョが台風で一週間順延になり、参加者の人数が減ったが、無事に終了しました。修了書も発行しました。

◆レクリエーション 来年の1月11日(土)居酒屋で飲み会の予定。

◆障ちゃんニュース発行部 現在進行中。印刷は11月24日の予定。

◆まっち発行部 まっちの印刷のみになりました。

### ◎その他

◇「雇用差別を許さないネット富山」さんから、協賛団体に入ってもらえな  
いかという事で、文福は協賛団体に入りました。

11月24日(日)女性差別撤廃条約40周年の講演が サンフォルテ 307号室にて行う。

◇ 年末年始 事務所は12月28日～1月5日までお休みです。

◇ 忘年会は各部で行う。全体の新年会は2月22日(土)

次回の運営会議は12月17日(火) pm 2:00～

報告者 先祖

## 「去る年、来る年の『障ちゃんニュース』」

NPO 法人文福理事長 八木勝自

毎年の 1 2 月発行の「障ちゃんニュース」はややこしいのです。何故、ややこしいかという毎作文福の理事長として「年末、年頭のご挨拶」を書いていて、編集長を兼ねている私にとっては皆さんの原稿が集まるのは 1 2 月の 1 5 日頃で、編集や手直するのはそれから 5 日ぐらいかかって、印刷や事務所に集まったみんなで製本をしたり、発送をしていると 1 2 月の末近くになってしまい、読者の皆さんにこの「障ちゃんニュース」が着くのは年が明けになることもざらにあると思うのです。まさに「去る年、来る年の『障ちゃんニュース』」になってしまうのです。それで編集会議の時に「障ちゃんニュース」の発行を毎月の 1 0 日頃にしようと言っているのですが、それを言った当人もついつい忘れてしまうのです。

とは言え、2019 年中の文福も皆さんに大変お世話になりました。

文福の事務局長の河上さんが中心にやっている社会や人々に人の優劣を付ける「優生思想」の問題も学習会や河上さんがテレビ番組に取り上げられたり、実演したり、本を出すことによって社会や人々に問題提起ができたと思うし、人手不足の中でレクレーションや総会や学習会の中での障害者を題材テーマとした映画の上映など様々なことを行って来たと思います。

そして、私も今年の後半から自分でも驚く程の歳のせいかな異性運は残念ながら付きませんでした。強運が付きまして。(ついでにうんこさんもついて来ましたが)

具体的には強運なので言えませんが、この強運を生かして文福の課題である「居宅障害者介助サービス」の人手不足の問題提起などもみんなで解決して行きたいと思いますので、文福への皆さんの支援や協力を今年の 2020 年もよろしく願います。(あまりに強運や付きがあるので、たまに 100 円の宝くじしか買わないことにしているのに、300 円の「年末ジャンボ宝くじ」を 10 枚買ってみました。最後の 2 桁でも当たったかどうかは次回の「障ちゃんニュース」で発表します)



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎ 居酒屋飲み会

主 催：夢宙人

日 時：1月11日〈土〉18時スタート

場 所：季節料理とお酒「わさび」(富山市総曲輪3-3-7)

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL (076) 441-6106

### ◎ もちつき大会

主 催：NPO法人文福

日 時：2月11日〈火・祝〉 12時～

場 所：文福事務所

参加費：200円+α

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL (076) 441-6106

### ◎ 連続学習会のご案内

日 時：2月28日〈金〉 PM:7:00～

場 所：文福事務所にて

テーマ：「安楽死」について

尚、詳細については次号に掲載します。

### ◎ 「第10回 地域福祉フォーラム in TOYAMA ～地域福祉 これからの10年～」

日 時：3月7日〈土〉9:30～17:30

交流会 18:00～19:30

夜の部 19:40～21:00

場 所：富山県高岡文化ホール 1階多目的小ホール  
(富山県高岡市中川園町13-1)

参加費：5,000円（学生は無料です。）

内 容：講演やシンポジウムで、成年後見の役割や障害福祉と子ども子育てに関する各自治体の現状などのお話があります。

お問い合わせ先：とやま地域福祉ネットワーク事務局  
社会福祉法人くるみ内 坂下さん  
TEL (0766) 54-5703

◎「令和元年度 発達障害児者基礎研修」

日 時：3月15日（日）10：00～15：50

場 所：高岡市ふれあい福祉センター 2階集会室  
（富山県高岡市博労本町4-1）

参加費：3,000円（学生無料）

講 師：山口久美氏（SNOW DREAM取締役）  
福祉現場で自閉症支援を行っている方です。

発達障害の基本的な特性が学べる研修です。

学校や事業所等で、すでに発達障害の方に関わっておられる方、地域で日々、不登校・引きこもり・ゴミ屋敷等の支援に関わっておられる方、お勧めです！！（チラシより抜粋）

お問い合わせ先：とやま地域福祉ネットワーク 事務局  
社会福祉法人くるみ内 坂下さん  
TEL (0766) 54-5703

◎ くろべ工房20周年 記念上映会

主 催：くろべ工房

日 時：3月21日（土）10：30～

場 所：黒部市国際文化センター コラーレ マルチホール 入場無料

【第一部】「星に語りて」

2011年3月11日 東日本大震災 障害のある人と支援者の物語

10：20～12：30

【第二部】「夜明け前」～呉秀三と無名の精神障害者の100年～

13：30～14：40

お問い合わせ先：社会福祉法人くろべ福祉会

TEL (0765) 56-7284

## ありがとうコーナー

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

**今年もよろしくお願ひします。**

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



新年明けましておめでとうございます。とは言ってもこのニュースが届くのは、年の瀬だと思います。

さて、行く年は、何が出来て何が出来なかったか振り返ることも大事だと思います。来る年を思いながら、新しい年を気持ちも新たに迎えたいものです。新しい年が災害の少ない年になります事を願っています。

### \*カンパ\*

河上 千鶴子さま

### \*物品提供\*

下伏 玲子さま 上田 孝子さま 瀬戸 紀美子さま 吉田 都さま  
能登 泰子さま 佐々木 卓司さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ぶんぷく 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

**TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6**

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。